

議事要旨(7) 財務諸表表示専門委員会における検討状況（IASB公開草案対応）について

冒頭、新井副委員長（専門委員長）より、5月に公表されたIASBの公開草案「その他の包括利益の項目の表示」（以下ED）に対するコメント（2010年9月30日期限）に対して、前回の企業会計基準委員会での審議を踏まえて、コメント案について、審議事項（7）の通り修正した旨の説明が行われた。引き続き、中條シニア・プロジェクト・マネジャーより、審議事項（7）に基づいて、前回からの修正事項に関する説明が行われた。

説明の後、委員等からの主な発言及び事務局からの説明等は次のようなものであった。

- ある委員から、専門委員会では1 計算書方式のみとすることについて反対の意見が多くあったということであるため、1 計算書方式のみとすることは必ずしも否定しないという記述だけではなく、2 計算書方式も認めるという意見があったことについて、どこかに付記した方が良いのではないかという意見があった。この点について、新井副委員長からは、前回の本委員会での審議では専門委員会での審議結果を説明したうえで委員会としてのコメントの方向性を審議して意見の集約を図り、それに基づいてコメント案を作成しており、2 計算書方式については、第2 項の冒頭において、その有用性について明確に記述しているため、専門委員会等での意見も反映していると考えている旨の説明がされた。
- また、ある委員から、コメント案の第2 項の言い回しについて、日本語版よりもIASBに提出する英語版の表現のほうが適切であり、それに揃えた日本語訳とすべきであるという提案があり、事務局より修正する方向で対応する旨の説明がされた。
- これらの審議を踏まえて、9月30日のコメント期限までに、IASBにコメントを送付することが了承された。

以 上